



# 萌木 1月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 小坂 力

令和3年1月15日発行

できることに取り組む

校長 小坂 力

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。  
いよいよ3学期が始まりました。始業式では次のような話をしました。

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ3学期が始まります。緊急事態宣言が出されて様々な制限がかかる中の3学期となりそうです。そのような中、みなさんと一緒に乗り越えて毎日を丁寧に生活していきたいと思っています。

さて、今日は「出来ることに取り組む」ということについてお話します。

かつて阪神タイガースなどのプロ野球の投手として活躍した下柳剛という選手がいました。2012年に引退しているので大分昔の選手です。その選手が話していた言葉で印象的だった言葉があるのでみなさんに紹介します。長くプロ野球でプレーしていると引退していく選手がたくさんいるので、引退の理由をよく聞くそうです。そうするとほとんどの選手は「膝がいたくてもうできない」や「体力が落ちた」など野球をできなくなる理由をあげるそうです。当たり前ですが、そこで体力の限界を感じていた当時の下柳選手はそうであるならば、俺は「出来る理由を探そう」と決め、できる理由を探し続けたことで長く現役を続けたり、復活したりできたそうです。この話から伝えたいことは、できない理由はだれでも簡単に見つけれられます。コロナで教育活動が制限され、本当にできないことは増えています。しかし、できることはあはずです。あきらめたり投げ出したりすることは簡単です。どんな状況でも「できる理由を探そう」と思うことは素敵なことだと思うのです。与えられた時間は公平です。3学期目標をもち、できることに取り組みこの状況をみんなで乗り越えていきましょう。

緊急事態宣言が発令され、学校の教育活動も制限される状況となりました。子供達には、行事が延期や中止になったり、部活動ができなくなったりと思う存分学習したり活動したりできないことについて本当に申し訳なく思っています。

この与えられた困難な時期においても、試行錯誤しながら教職員一丸となって最大限「学びの保証」ができるよう努めてまいります。今後とも御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

第2回おもしろ実験教室を行いました。



12月14日(月)第2回おもしろ実験教室を行いました。今回は火山灰の実験を行い、12名の生徒と地域の方が参加しました。鹿沼土や桜島の火山灰を何度も洗い、双眼実体顕微鏡で観察しました。参加した生徒はいろいろな鉱物を見つけることができ、時間を忘れるほど大好評でした。しかも生徒は、観察した鉱物を標本として持ち帰ることができました。